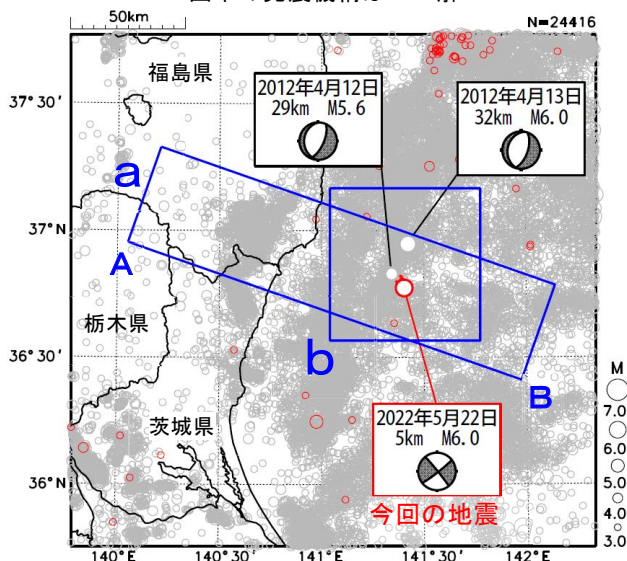
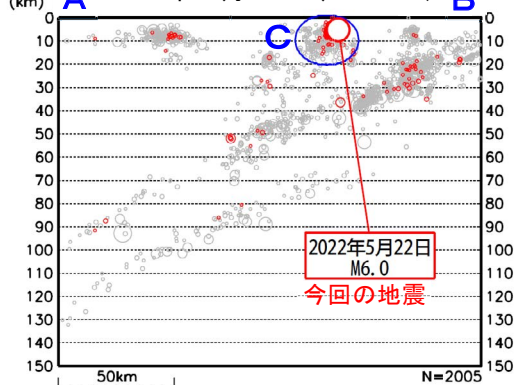


5月22日 茨城県沖の地震

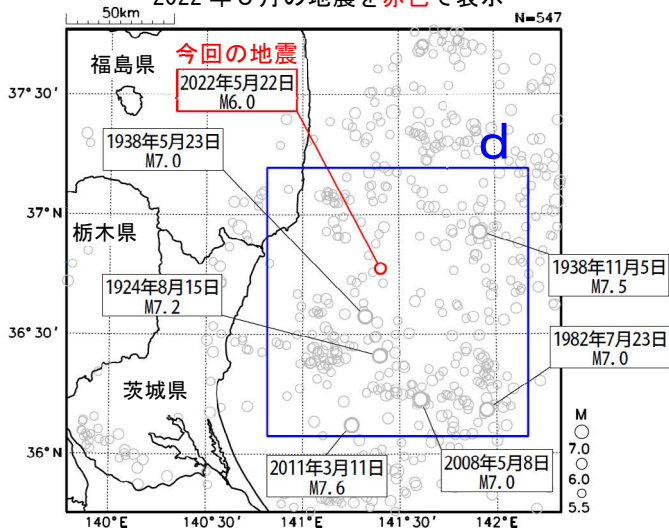
震央分布図
(1997年10月1日～2022年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2022年5月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図
(A-B投影、2020年9月1日～
2022年5月31日、 $M \geq 1.5$)



震央分布図
(1919年1月1日～2022年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.5$)
2022年5月の地震を赤色で表示

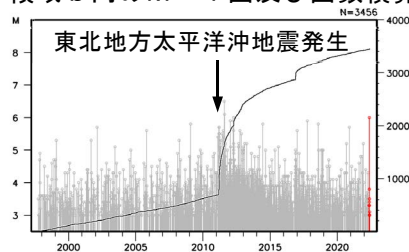


2022年5月22日12時24分に茨城県沖の深さ5kmでM6.0の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震により、長周期地震動階級2を観測した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は、東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震により住家一部破損1棟などの被害が生じた(5月30日17時00分現在、総務省消防庁による)。

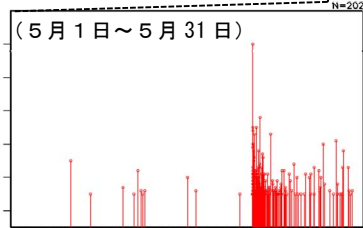
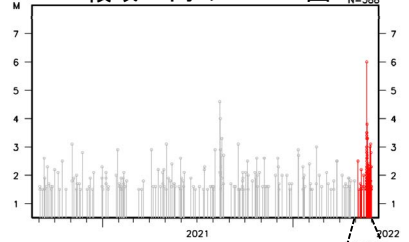
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震の発生数が増加し、M5.0以上の地震がしばしば発生している。2012年には、4月12日から福島県南部と茨城県北部の沖合いでまとまった地震活動が発生し、13日のM6.0の地震が最大規模の地震であった。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域d)では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。1938年5月23日に発生したM7.0の地震では、福島県小名浜で83cm(全振幅)の津波が観測された(「日本被害地震総覧」による)。また、2011年3月11日15時15分に発生したM7.6の地震(最大震度6強)は、東北地方太平洋沖地震の最大余震である。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



領域d内のM-T図

